

トゲに 注意

アメリカオニアザミ



アメリカオニアザミ とは

ヨーロッパ原産で繁殖期ころ（7月～10月）に鮮やかな淡紅紫色（ピンク色）の花を咲かせるキク科の多年草です。

しかし、花以外の葉や茎などに鋭いトゲがあり、人や動物にけがを負わせるおそれがあるほか、繁殖力が強く、在来植物の生育場所を奪ってしまうおそれがあることから、国において幅広く生態系等に被害を及ぼすおそれのある「生態系被害防止外来種」に選定されています。

栗山町内でも確認されており、地域の生態系に大きな影響を与えるおそれがあります。

アメリカオニアザミを 見つけたら

アメリカオニアザミは、タンポポのように綿毛がついた種が風などで運ばれ、生育範囲を拡大しますので、種が飛散する前に処理することが必要です。

ご自宅の敷地内や所有地内で見つけた場合は、駆除へのご協力をお願いします。

駆除にあたっては、茎を刈るだけでは残った根や株から再生しますので、成長期（繁殖期）を迎える前に根ごと引き抜く、（剣先）スコップで周辺の土ごと掘り返す、草刈り機などで根元から刈り取るなどを行ってください。

駆除する際の注意点

- 長ズボン、厚手のゴム手袋や革手袋などを着用してください。
- 駆除した後にそのままにしておくと種が飛散するおそれがあるので、**早めの処理**をお願いします。
- 処分の際は、トゲで袋が破損するおそれがあるので、**新聞紙や厚紙で包む、袋に「トゲ注意」など危険を知らせる内容を記載する**などの対応をお願いします。

【問い合わせ】

環境生活課ゼロカーボン推進グループ

電話：0123-76-7065